

SHOW HEY シネマルーム

★★★★

コッホ先生と僕らの革命

2011年・ドイツ映画
配給/ギャガ・114分

2012 (平成24) 年9月23日鑑賞

テアトル梅田

Data

監督：セバスチャン・グロブラー
出演：ダニエル・ブリュール/ブルクハルト・クラウスナー/カトリン・フォン・シュタインブルク/ユストウス・フォン・ドーナニー/アクセル・プラール/ユルゲン・トンケル/トマス・ティーマ/アドリアン・ムーア/テオ・トレプス/ティル・パレンティン・ウインカー

👁️👁️ みどころ

1870年代の帝政ドイツの象徴は、ヴィルヘルム1世。そんな時代に、仮想敵国イギリスのスポーツであるサッカーをドイツ名門校の生徒たちに導入したのがコッホ先生。秩序、規律、服従の反対語である「自由」の導入によって、帝政ドイツの教育界に激震が走ったが……。『3年B組金八先生』に代表される学園ドラマのような展開の中、クライマックスでの感動を共有したい。

正岡子規はアメリカ生まれのベースボールを野球＝「のぼーる」と和訳し、日本への普及に貢献した。もしそれがサッカーだったら、日本は今頃サッカー強豪国に……。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■正岡子規がサッカーを知っていれば……■□■

アメリカで「ベースボール」が始まったのは1846年とされているが、これを愛した正岡子規（1867年—1902年）が1890年頃から「野球」「打者」「走者」「四球」「直球」「飛球」などの一連の和訳用語を生み出したことは、司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』などでよく知られている。ベースボール＝野球＝「のぼーる」とは言い得て妙で、明治初期の日本人エリートたちの知恵と創造性を感じとることができる。

これに対して、本作は1870年代にイギリスのパブリックスクールで成立した近代的スポーツとしての「サッカー」をドイツに持ち込み、今日のサッカー強豪国ドイツの基礎を築いたドイツ人の英語教師・コンラート・コッホ（ダニエル・ブリュール）の生きざまを描くもの。もし正岡子規が野球ではなくサッカーに興味を持ち、これを日本に普及させていれば、早くから日本もドイツと同じようなサッカー強豪国になっていたかも……。

■帝政ドイツとは？ヴィルヘルム1世とは？■

自由、平等、博愛を旗印とした1789年のフランス革命以降、ヨーロッパでは少しずつ近代民主主義国家が成立していった。他方、ロシアは近代民主主義国家を経ることなく社会主義革命が起きたため、ずっと帝政ロシアが続いていたというイメージが強いが、ドイツについては？多くの日本人は第1次世界大戦後にヒトラーを生み、第2次世界大戦では日本と同盟した国ドイツのことはよく知っているが、それより以前のドイツ（プロイセン、北ドイツ連邦、バーデン大公国、ヴュルテンベルク王国、バイエルン王国等）における普仏戦争、ヴィルヘルム1世、ビスマルク宰相等々のキーワードはほとんど知らないのでは・・・？

しかして、本作では1874年に帝政ドイツの都市ブラウンシュヴァイクにある名門カタリネウム校に英語教師として赴任してきたコッホに与えられた部屋に飾られているヴィルヘルム1世（ドイツ皇帝）の像に注目！

■なぜ今、英語の勉強を？■

コッホを同校に招いたグスタフ・メアフェルト校長（ブルクハルト・クラウスナー）は進歩的思想の持ち主だが、体育教師のドクター・イエッセン（ユルゲン・トンケル）や歴史学教師のドクター・ローマン・ボッシュ（トマス・ティーマ）らはヴィルヘルム1世を崇拝する超保守派。同じく超保守派で権威主義者（？）であるカタリネウム校の後援会長リヒャルト・ハートウング（ユストゥス・フォン・ドーナニー）がコッホに対して述べる「教育論」は、「秩序と規律、服従がすべて」というものだ。私が生涯のベスト1映画に挙げる映画は、ジュリー・アンドリュースが主演したミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』（65年）だが、そこでも7人の子供たちの父親である退役軍人トラップ大佐の教育方針は、規律と服従だった。本作における軍隊スタイルの運動と器械体操で構成された体操の授業や



©2011 DEUTSCHFILM / CLICKO CLOCK ENTERTAINMENT / SENATOR FILM PRODUKTION

生徒に対する厳しい体罰の様子を見ていると、それが明確になる。

普仏戦争でやっつけたフランスの次の仮想敵国はイギリスと考えられていたそんな帝国ドイツの時代、カタリネウム校の生徒たちが敵国語の英語を勉強する意味は、一体どこにあるの？



©2011 DEUTSCHFILM / CUCKOO CLOCK ENTERTAINMENT / SENATOR FILM PRODUKTION

■□■「自由」の喜びとは？生徒たちの変化とは？■□■

英語（の発音）に興味を示さない生徒たちに対してコッホが見せてやったのが、英語によるサッカーのゲーム。と言っても体育館の中につくった簡単なゴールを目標にサッカーボールを蹴るだけの単純なものだが、それでも日頃から規律で抑圧され自由な遊びを知らない生徒たちはボールを蹴ることの楽しさに大興奮！その中でも、スポーツ用品製造業者の息子である太っちょのオットー・シュリッカー（ティル・バレンティン・ウィンカー）はゴールキーパーとしての才能を示し、たった一人労働者階級の息子ながら入学を許されているちびっ子ヨスト・ボーンシュテッド（アドリアン・ムーア）はフォワードとしての才能を示したから、コッホはビックリ。他方、リヒャルトの息子である級長のフェリクス・ハートウング（テオ・トレブス）だけはサッカーを通じてコッホ先生の統率力が強まり、自分の仲間（舎弟？）のハインリヒたちの支持を失っていくことに危機感を感じていたから、一人だけ疎外されていくことに。

1945年の敗戦によるアメリカからの自由と民主主義の導入によって日本の教育制度は劇的に変化したが、それと同じような変化がカタリネウム校のコッホ先生のクラスでも起きたわけだ。その結果、たしかに生徒たちは生き生きと自由を楽しむように大きく変化した。それは秩序と規律、服従を重んじる帝政ドイツの教育方針に照らせば麻薬と同じような大害毒・・・？リヒャルト・ハートウングやドクター・イエッセン、ドクター・ローマン・ボッシュたち超保守派がそう考えたのは当然だ。その結果、学校でのサッカーは

禁止されることになったが、校内での禁止なら校外があるさ！それは誰でも思いつく発想だが、それを実行いや示唆するところが、ドイツ人とはいえ外国に留学しイギリス的自由の発想を身につけたコッホのすごいところ。「放課後は自由だ。あとは君たちにまかせる」とのコッホの言葉に、生徒たちの目は輝いたが・・・。



©2011 DEUTSCHFILM / CUCKOO CLOCK ENTERTAINMENT / SENATOR FILM PRODUKTION

■□なるほど、こんな手が！■□

公園で隠れてサッカーを楽しんでいた生徒たち全員の逮捕、ヨストの退学処分決定、その取消しと引き換えのコッホの教師辞任、そして当然ながらサッカーの全面禁止。映画の中盤はそんな暗いシークエンスばかり続くが、そんな事態になった責任を痛感した級長のフェリックスが考えだした案が帝国学校条例の活用だ。これはいわば帝国教育庁への「直訴」だから、弁護士の私としては「なるほど、こんな手が！」と彼の着眼に大賛成だが、いくら進歩派でも校長のグスタフ・メアフェルトの対応は？そして、辞任を決意したコッホ先生の判断は？

本作は実話にもとづいた物語だが、後半からのそんな展開はまるで多くの「学園ドラマ」や『3年B組金八先生』シリーズのような楽しさでいっぱいだから、それに注目！ちょっと古いが高峰秀子が主演した壺井栄原作の『二十四の瞳』（54年）は涙なくして見られない名作（『シネマルーム13』346頁参照）だが、本作においてサッカーを通じて形成される先生と生徒たちとの信頼関係や生徒たち相互の団結、絆の強まりは全くそれと同じだから、その楽しさと感動を実感したい！

■□■逆転また逆転の中で迎えるクライマックスは？■□■

フェリックスによる弁護士もあつと驚く「秘策」によって、帝国教育庁から視察団派遣決定の電報が学校に届いたから、サッカーの全面禁止とコッホの教師辞職は当面延期され

ることになったが、そこで収まらないのがリヒャルト・ハートウング。ボール1つで遊べるサッカー（フットボール）は、考古学的には古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの時からあったらしいが、



©2011 DEUTSCHFILM / CUCKOO CLOCK ENTERTAINMENT / SENATOR FILM PRODUKTION

近代的スポーツとしてのサッカーは、ルールも結構複雑だ。すると、帝国教育庁のお偉方は、目の前で展開されているコッホ率いるドイツチームとコッホの友人率いるイギリスチームとの「試合」をどこまで理解できるの？

しかし、そんな心配が「取り越し苦労」だということは、本作を観ているとよくわかる。つまり、よくも悪くもスポーツは国民感情（愛国感情）を刺激するということだ。したがって、帝国教育庁のお偉方は当初こそ「こんな野蛮なスポーツはいかん」とささやき合っていたものの、惜しくもドイツチームがゴールを逃すと大きく落胆。しかし、その後のチャンスでゴールを決め同点に追いつくと、拍手喝采しながらゲームにのめり込んでいったから面白い。結果はミエミエのクライマックスだが、それはそれとして、しっかりその楽しさを共有したい。

2012（平成24）年9月29日記



©2011 DEUTSCHFILM / CUCKOO CLOCK ENTERTAINMENT / SENATOR FILM PRODUKTION